

温故知新 IIN30 年記念行事 市内散策の思い出(2012/11/09)

WELCOME PARTY の後、初めての歓迎行事が茨木市内散策でした。

ミネアポリスからのゲストは、慎み深い男性陣と笑顔がチャーミングなご婦人そして日本人合わせて18名・・・茨木神社→梅林寺→かつおぶし SHOP (阪急本通り付近)→町家ハウス (IIN 会員 Y さん宅) という行程を楽しみました。



茨木神社では、特別に巫女さんの奉納舞(お神楽生演奏で)や7月に行われる神社お祭り用の山車を鑑賞し→梅林寺は中川清秀の墓にも詣で→かつおぶし店では店主のご好意でかつおぶしフレークを試食→圧巻は本物町家での滞在！ 町家説明の他、<すぐに使える日本語レッスン>や干菓子が添えられた日本茶、そして湯元家代々に伝わるアンティークな品々に目を見張り、真の「DEEP な日本文化」を楽しまれたと思います。





立ち寄る全ての SPOT に地元の縁をフルに生かし交渉してくださった Y さんに感謝です。そして茨木神社でのハプニング・・・下見では神社内の説明は語学堪能な宮司さんとお聞きしていましたが・・・当日、「いえ、僕できません！」うわあ、どうするんやろ(誰が説明するの？ワタシは無理だからね・・・)とっさに代わって喋った Y さん！立派でしたよ。



楽しく、しかも日本人にも興味深いツアーとなりました。
R.K 記

市内散策と町屋の紹介係りをして
先祖代々、茨木に暮らして150年？。茨木神社と梅林寺への依頼は数分で終わりました。

が、細々と続けて来た店舗付き住宅「町屋」をゲストの皆様にお見せすると言う企画が大ごとで、6年間ほったらかし(店&物置としてしか使っていなかった)の座敷と前栽(「坪庭」は関東風の呼び名で、近隣ではセンザイと呼んでいます)の大掃除やら、8人分の骨董湯呑やら、18人分の座布団やら、毎日少しずつ準備しました。



当日はハプニングだらけ。神社ではアテにしていた英語解説を神主さんがしてくれず、お寺ではゲストの足並みが乱れ(笑)、カツオブシ屋では予定外の味見が始まり、御座敷で内輪話をした後は、私は数人の方とお茶を淹れていましたので、その間に何が行われていたのか、謎～、でした。Kさんは「ウナギ

の寝どこ、の説明を完全に忘れた～」って言っていました。

メンバーの方が楽しんだのではないかな、ゲストの方達にはどこまで楽しめてもらったのかな、と疑問が残っています。 日本文化をどこまでお伝え出来たのか？ むずかしい事です。

メンバーの方で、お寺やら家屋内に入ってもらえなかった方々には大変申し訳無かったです。ご都合の良い時に順次お越し下さればと思っています。

あれも忘れた、これも抜けた、ばかりでした。メンバーの結束？は益々強まった気がしています。みなさんの助け合いの精神がバツグンで、改めて感服。これからもいっそう協力させてもらおうと思いました。A.Y 記